

美味しかった、楽しかったと思えるひとときを

高橋典恵さん

たかはし・のりえ 70歳 〓刈屋〓

「企画展をきっかけに、お店に来てもらえると、やっぱり嬉しいですね」と微笑むのは、6年前からロイヤルシテイ八幡平でイタリア料理店「森のイタリアン ラミア マンマ」を営む高橋典恵さん。県民の森・森林ふれあい学習館フォレストアイで開催している石川啄木の企画展(11月3日まで開催)に合わせ、3年続けてコラボメニューを提供。八幡平エリアへの誘客につなげている。

「企画展をきっかけに、お店に来てもらえると、やっぱり嬉しいですね」と微笑むのは、6年前からロイヤルシテイ八幡平でイタリア料理店「森のイタリアン ラミア マンマ」を営む高橋典恵さん。県民の森・森林ふれあい学習館フォレストアイで開催している石川啄木の企画展(11月3日まで開催)に合わせ、3年続けてコラボメニューを提供。八幡平エリアへの誘客につなげている。

「頭はずっとあった」という。夫が病気で他界すると「頑張る気持ちだが、もう、本当に切れちゃって」家業など全てを息子に引き継いだ。

本市との縁は、新しい生活を始めるため、探していたフルタイムで雇用してくれる職場を知人に紹介されたのがきっかけ。市内で仕事を続けながらも「どうしてもやりたい」と飲食業への思いを持ち続けていた高橋さん。働きながら調理師の資格を取得。売りに出していた物件を購入・改装し、令和元年10月に、若い頃から抱き続けた夢を叶えた。イタリア料理店にしようと決めたのは、ビジネスパートナーであり、現在は同店で、マスター

本市移住前は、家事を切り盛りしながら、夫が長野県内で営む建設会社で、自身も技術者として家業を盛り立てていた高橋さん。働きながらも「学生時代にアルバイトした飲食業を、いつかやりたい」という思

「美味しかった、楽しかった」と思ってもらえるよう「お客様を迎えているという高橋さん。企画展とコラボする店舗は増え、昨年からは3店舗になった。「もっとコラボする仲間が増えて」ここにも行ってみよう」と輪が広がればいいですね」と思いを込める。

「イタリア料理、カルツォーネ(包み焼き)を高橋さんが提案すると、山本さんは具材に、啄木が好きだったじゃがいもとコーンとキノコ、鮭を選び「包み焼

き」と舌つつみ」の語りから「啄木舌つつみ」と名付けた。

「美味しかった、楽しかった」と思ってもらえるよう「お客様を迎えているという高橋さん。企画展とコラボする店舗は増え、昨年からは3店舗になった。「もっとコラボする仲間が増えて」ここにも行ってみよう」と輪が広がればいいですね」と思いを込める。

「美味しかった、楽しかった」と思ってもらえるよう「お客様を迎えているという高橋さん。企画展とコラボする店舗は増え、昨年からは3店舗になった。「もっとコラボする仲間が増えて」ここにも行ってみよう」と輪が広がればいいですね」と思いを込める。

「美味しかった、楽しかった」と思ってもらえるよう「お客様を迎えているという高橋さん。企画展とコラボする店舗は増え、昨年からは3店舗になった。「もっとコラボする仲間が増えて」ここにも行ってみよう」と輪が広がればいいですね」と思いを込める。

「美味しかった、楽しかった」と思ってもらえるよう「お客様を迎えているという高橋さん。企画展とコラボする店舗は増え、昨年からは3店舗になった。「もっとコラボする仲間が増えて」ここにも行ってみよう」と輪が広がればいいですね」と思いを込める。

「美味しかった、楽しかった」と思ってもらえるよう「お客様を迎えているという高橋さん。企画展とコラボする店舗は増え、昨年からは3店舗になった。「もっとコラボする仲間が増えて」ここにも行ってみよう」と輪が広がればいいですね」と思いを込める。

「美味しかった、楽しかった」と思ってもらえるよう「お客様を迎えているという高橋さん。企画展とコラボする店舗は増え、昨年からは3店舗になった。「もっとコラボする仲間が増えて」ここにも行ってみよう」と輪が広がればいいですね」と思いを込める。



外に広がる紅葉や冬景色の魅力を語るマスターの宮島(左)さんと店主の高橋さん



提供する「啄木舌つつみ」

【広告】この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。

関節痛、腰痛、骨を丈夫に
コミュニティバス
「八幡平中央整形」バス停そば
(八幡平中央 整形外科・内科クリニック)
漢方のあさひ薬局
八幡平市大更25-118-1 TEL.0195-75-2227

編集後記

ワスベースの都合上、紹介できないのが残念ですが、ラミアマンマさんの取材では、長野県の雇用のこと、勉強で訪れたイタリアでのお話、日本と現地でのジェノベーゼの違い、平館高校さんとのコラボのことなど、たくさんお話を聞かせていただきました。貴重な時間を頂戴し大変ありがとうございました。〓
▽20周年記念式典を取材。これまでの市の歩みを振り返りつつ、来場された皆さんや児童・生徒の皆さんの力も借り、次の節目に向け、明るい気持ちで出発できる式典になりました。〓
また、来市された澤田知可子さんにインタビューさせていただきました。来月号で紹介いたします。〓

※広報はちまんたい10月9日号(No.364)の印刷経費は1部112.75円、発行部数は9,559部です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載は、株式会社総合広告社(☎019-626-3370)まで。



発行 若手県八幡平市 (編集: 企画財政課)
〒028-7397 若手県八幡平市野駄第21地割17の番地
☎0195-74-2111 FAX0195-74-2102